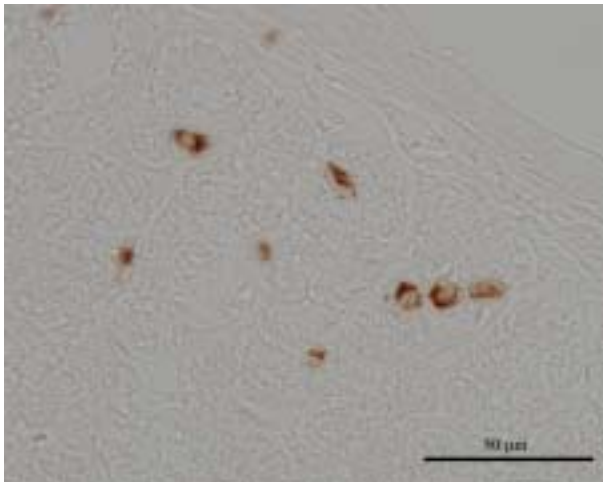


抗ラット Ghrelin ポリクローナル抗体

Ghrelin は、1999 年に成長ホルモン促進物質受容体 (GHS-R) の内因性リガンドとして、ラット胃より同定されたペプチドです。成長ホルモンの分泌は、視床下部ホルモンである GHRH により制御されていると考えられていましたが、この Ghrelin も成長ホルモンの分泌を促進することが明らかとなりました。また、Ghrelin は強い摂食促進作用を持ち、胃酸分泌促進などにも関与しています。

本抗体は、ラット Ghrelin の部分ペプチドを抗原として作製しました。免疫組織染色に使用可能で、Ghrelin の幅広い生理作用の解明に有用です。

容量	25 μ g (100 μ L/vial)
形状	ウサギポリクローナル抗体 0.25mg/mL、凍結品
バッファー	PBS [2% ブロックエース (安定化蛋白)、0.1% proclin 含有]
保管方法	-20 以下 抗体を低濃度にて冷蔵保管されますと、失活する恐れがあります。 融解後は 4 で保存し、お早めにご使用下さい。 また凍結融解を繰り返すことは避けて下さい。
製造方法	ラット Ghrelin の部分ペプチドを免疫して得られたウサギの抗血清より、ペプチドアフィニティーカラムにて精製。
使用濃度	免疫組織染色 : 0.01 μ g/mL ~



免疫組織染色

Sample : ラット胃

提供 : 埼玉大学 理学部

山崎 真美 先生

坂田 一郎 先生

抗ラット Ghrelin ポリクローナル抗体

【参考文献】

1. Kojima M. et al. : Nature 1999 Dec 9;402(6762):656-60
2. Nakazato M. et al. : Nature 2001 Jan 11;409(6817):194-8
3. Sakata I. et al. : Neurosci Lett. 2003 May 22;342(3):183-6

製造元

 株式会社トランスジェニック

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町 7-1-14

TEL: 078-306-0295 FAX:078-306-0296

URL:<http://www.transgenic.co.jp> techstaff@transgenic.co.jp